ISSN 0910-3708

西南アジア研究

NO. 33

1990

西南アジア研究会

欧文雑誌略号表

AA	*Arts Asiatiques*
AmAnth	*American Anthropologist*
AAAG	*Annal of Association of American Geographers*
ABIA	*Annual Bibliography of Indian Archaeology*
ActaO	*Acta Orientalia*, Copenhagen
ActOH	*Acta Orientalia Academiae Scientiarum Hungaricae*
AI	*Ancient India*
AE	*American Ethnologist*
AG	*Annales de Géographie*
AJA	*American Journal of Archaeology*
AM	*Asia Major*
ArOr	*Archiv Orientální*
AOr	*Ars Orientalis*
AP	*Ancient Pakistan*
AQ	*Anthropological Quarterly*
AS	*Asiatische Studien/Études Asiatiques*
ASIAR	*Archaeological Survey of India, Annual Report*
ASJ	*Acta Sumerologica*, Hiroshima
AV	*Archiv für Völkerkunde*
BDCRI	*Bulletin of the Deccan College Research Institute*
BEFEO	*Bulletin de l'École Française d'Extrême-Orient*
Bell	*Belleten* (Türk Tarih Kurumu)
BSO[A]S	*Bulletin of the School of Oriental [and African] Studies*
CAJ	*Central Asiatic Journal*
CDAFI	*Cahiers de la Délégation Archéologique Française en Iran*
EDCC	*Economic Development and Cultural Change*
EI[1,2]	*Encyclopaedia of Islam*, 1st Edition, 2nd Edition
EW	*East and West*
GJ	*Geographical Journal*
IA	*Indian Archaeology*
IrA	*Iranica Antiqua*
IC	*Islamic Culture*
IESHR	*Indian Economic and Social History Review*
IHQ	*Indian Historical Quarterly*

（表紙３へ）

西南アジア研究

No. 33
1990

西南アジア研究会

目　　次

論　文

サーヴィスカースト・儀礼・村落秩序

——南インドの村司祭パンダーラムの事例——……重　松　伸　司（1）

古層カンナダ語の複合語記述の枠組みについて……家　本　太　郎（33）

研究ノート

サレ・ポレ・ゾハーブ碑文の再検討……春　田　晴　郎（56）

Svapnavāsavadattaのプロット分析……増　田　良　介（69）

研究動向

Achaemenied History Workshop

——ハカーマニシュ朝ペルシャ帝国再検討の試み——……川　瀬　豊　子（86）

本会記事……編集委員会（102）

欧文雑誌略号表……（表紙2・3）

『西南アジア研究』投稿規定

Ⅰ　投稿先　西南アジア研究会　〒606-01　京都市左京区吉田本町　京都大学文学部内

Ⅱ　原　　稿

1　Ｂ５版200字詰原稿用紙に横書きのこと。

2　論文は注を含め80枚ていど、研究ノート・研究動向は20枚～60枚とする。

3　論文等すべて１号限りで完結するものとし、連載はしない。

4　採否は編集委員会が決定し、手直しを求めることもある。

5　原稿は返却しない。ただし図については、投稿時に申し入れがあれば返却する。

6　別刷は30部を進呈する。ただし増刷はおこなわない。

7　投稿者は本誌の体裁にしたがい、以下の書き方に統一すること。

a．第１頁に表題・氏名、第２頁にその英訳、第３頁以下を本文とし、注・文献表を含めて通し頁をうつ。

b．章はローマ数字、アラビア数字で示す。ただし章節の表題の有無は自由である。

c．注は別紙おこしとし、本文の後ろにつける。注の書き方は次のとおりとする。

　1)　この場合，帝王の叙任は……

　　どちらともいえない。

d．頁のみの引用はしない。参考文献の場合は[Fussman 1978：94—98]，資料の場合は[HS：25]として本文中に入れる。なお94—98，25などは引用頁である。

e．ｄによって生じる文献表をつくり、別紙おこしで注のうしろにつける。筆者姓ＡＢＣ順とし、欧文、和文、中文を混記する。中文は拼音による。書式は、下のⅣのとおり。

f．雑誌などの略号は本誌の表紙うらの方式にしたがうこと。単行本・雑誌は、欧文ではイタリック指示、和・中文では『　』に入れ、論文表題は括弧をつけず、裸のままにする。巻数はアラビア数字とし、号数は（　）に入れて、３（１）、４（３-４）［３，４号合併号の場合］などとする。Vol.，Part などの表示はしない。なおロシア文字はイタリックを用いない。

8　以上により、文字原稿は、表題・氏名、英文表題・氏名、本文・注、文献表より成る。

Ⅲ　図の原稿

1　本誌ではアート紙・折り込み図表は使わない。

2　したがって版面12×18㎝を考慮すること。

3　図はそれぞれ別紙に作成し、通し番号をつけ、各図の天地を明確にすること。

4　たとえば図３などが複数の写真などで構成されるときは、版面に入るよう考慮のうえ、出来上り図を作成すること。個々の図は、図１からの通し番号とする。

5　図の説明文（キャプション）は図に記入せず、Ｂ５版200字詰原稿用紙に書き、他の文字原稿の末尾につけておくこと。

6　本文原稿に図の挿入箇所を明示すること。原稿頁の右下に「図２挿入」などと朱書し、出来上りの面積（タテ５×ヨコ８㎝），頁における位置（上下左右など）を指示すること。

7　そのままで版下になる図をつくること。図中に文字を貼りこむ場合は、別途に経費を申しうけることがある。

Ⅳ　文献表の書き方

Auboyer, J. and J.-F. Enault

1969　*La vie publique et privée dans l'Inde ancienne*, 1 (2) : *L'architecture civile et religieuse*, Paris.

Bhandarkar, D. R.

1931　Newly Discovered Sculpture from Videśa, *Journal of the Oriental Institute, M. S. University of Baroda*, 18 (3).

羽　田　　明

1983　『中央アジア史研究』，京都.

松　原　正　毅

1979　トルコの村の家族と親族，『アジア文化史論叢』，3，東京.

本会記事

西南アジア研究会総会

1990年度西南アジア研究会総会は、先の会告のごとく1990年9月8日午後2時から、京都大学文学部博物館会議室で開かれた。

吉田光邦会長の挨拶に続いて、前川和也氏を議長に選出し、総会議事に入った。会誌発行状況、会員数、会計についての報告が行われ、岡崎正孝監事より会計が適正に処理されている旨報告された。この際、諸物価高騰による会費値上げが諮られ、1990年度（第33，34号）から年会費を1000円引き上げ、一般会費6000円、学生会員費4000円とすることが承認された。また今年度以降入会の学生会員の資格は、従来の修士課程在学者までを改め、学部学生までとすることも併せて承認された。

続いて京都大学文学部研修員の徐朝龍氏に「インダス河流域における先史諸文化の展開過程に関する考古学的研究」と題してご講演いただき、最後に小野山副会長の閉会の挨拶をもって終了した。

西南アジア研究　**第33号**　1990年9月25日印刷　1990年9月30日発行
編集兼発行者　京都大学文学部内　西南アジア研究会　代表者　吉　田　光　邦
年会費　維持会員20,000円，一般会員（大学院生を含む）6,000円，学生会員（学部在学者）4,000円
振替口座　京都8-19867　印刷者　京都印刷紙工株式会社　京都市伏見区毛利町6

（表紙２より）

IIJ	*Indo-Iranian Journal*
IJMES	*International Journal of Middle East Studies*
IQ	*Islamic Quarterly*
IT	*Indologica Taurinensia*
JA	*Journal Asiatique*
JAOS	*Journal of the American Oriental Society*
JAR	*Journal of Anthropological Research*
JCS	*Journal of Cuneiform Studies*
JESHO	*Journal of the Economic and Social History of the Orient*
JIABS	*Journal of the International Association of Buddhist Studies*
JIH	*Journal of Indian History*
JRAI	*Journal of the Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland*
J[R]ASB	*Journal of the [Royal] Asiatic Society of Bengal*
JNES	*Journal of the Near Eastern Studies*
MASI	*Memoirs of the Archaeological Survey of India*
MEJ	*Middle East Journal*
MDAFA	*Mémoires de la Délégation Archéologique Française en Afghanistan*
MMAI	*Mémoires de la Mission Archéologique en Iran* (*Mémoires de la Délégation en Perse*)
MES	*Middle Eastern Studies*
MSOS	*Mitteilung des Seminars für Orientalische Sprachen*
MW	*Muslim World*
OrNS	*Orientalia*, Nova Series
OrSP	*Orientalia*, Series Prior
PA	*Pakistan Archaeology*
RA	*Revue d'Assyriologie [et d'Archéologie Orientale]*
REI	*Revue des Études Islamiques*
RGE	*Revue Géographique de l'Est*
RMM	*Revue du Monde Musulman*
SIr	*Studia Iranica*
SI	*Studia Islamica*
TP	*T'oung Pao*
WZKS[O]	*Wiener Zeitschrift für die Kunde Süde [*Bd. 1-13 : *und Ost-] asiens*
ZA	*Zeitschrift für Assyriologie [und Vorderasiatische Archäologie]*
ZDMG	*Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft*

BULLETIN OF THE SOCIETY FOR WESTERN AND SOUTHERN ASIATIC STUDIES, KYOTO UNIVERSITY

No.33 September 1990

CONTENTS

Articles

Service Caste, Rituals and Village Order—A Case of Pandaram in a South Indian Village— ..... Shinji SHIGEMATSU (1)

A Note on Compound Constructions in Old Kannaḍa ..... Taro IEMOTO (33)

Notes

Sar-e Pol-ẹ Ẓohāb Inscriptions—— King Gōtarz Son of King Artabān and Spādak of the Great Kārin Family —— ..... Seiro HARUTA (56)

An Analysis of the Plot of *Svapnavāsavadatta* ..... Ryosuke MASUDA (69)

Report

Achaemenid History Workshop ..... Toyoko KAWASE (86)

Miscellanea ..... (102)

THE SOCIETY FOR WESTERN AND
SOUTHERN ASIATIC STUDIES
KYOTO UNIVERSITY
(KYOTO, JAPAN)

会費値上げについてのお願い

本会では１９８４年に第２３号をもって会誌を復刊して以来、過去６年間にわたり年会費を据え置き、諸経費を節減して会員の皆様に負担のかからぬよう努力してまいりました。しかしながら諸物価高騰にともない会誌印刷費も大幅に上昇し、今後の会誌の刊行に支障をきたしかねない状況にいたっております。このため、やむなく１９９０年度（第３３、３４号）より年会費を一般会員６０００円、学生会員４０００円とさせていただくことになりました。またあわせて、今後入会の学生会員の資格についても学部学生に限ることとし、大学院修士課程在学生の新入会の場合は一般会員扱いとさせていただきます。なにとぞ会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西南アジア研究会

会員各位

※お詫び

今号第33号の刊行が大幅に遅れ、会員の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。謹んでお詫び申し上げますとともに、一刻も早く定期刊行に復すべく努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。